

令和2年度 地域のまちづくりびと講座

緑区徳重支所の「ユメリア徳重開設10周年事業として行う「緑区まちづくりスキルアップ塾（徳重塾）」を共催で行い、これをもって令和二年度の「まちづくりびと講座」としています。

第2回目

日時: 令和2年11月22日(日)

時間: 10:30~16:30

場所: ユメリア徳重 4階地区会館体育室

講師: 釘山健一さん & 小野寺郷子さん

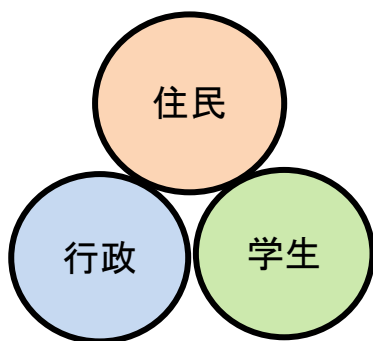
(一般社団法人会議ファシリテーター普及協会
代表・副代表)



「楽しい雰囲気・いいムードの中で対話をしたほうが、成果がでる！」
脳は、雰囲気で考える！
第2回は「スポーツ」！
今回は、参加者の中も、スポーツウェアや応援グッズなど、思い思いの格好をして、楽しく参加されていました！



そして、本講座の一番の特徴は、何と言っても参加者が「住民・学生・行政」の三者で構成されていること。多様な塾生たちが、一緒に語り合い、あふれるアイデアから、緑区でできる具体的な活動を実践することを目指します。そのふれこみの通り、第一回目は、住民17人、学生11人、行政9人で、開催されました！



第二回は「対話のスキル（ファシリテーション）を学ぶ」というテーマで、お話しいただきました。そして、付箋を使ってグループごとに実践。昼を挟んだ長丁場でしたが、笑ったり、考えたり、手を動かしたりと、学びの中であっという間に時間がたちました。

アイスブレイク



スポーツというテーマにちなんで、オリンピックの五輪の「塗り絵」です。グループごとに、「どの輪っかが、どの色だったっけ・・・？」と相談しながら塗りました。正解は、7グループ中3つ。何度も見たことがあるはずなのに意外とわからないものです。

ファシリテーターとは?!～釘山先生の講座を受けた方のその後の活躍～

今回紹介して頂いたのは、固くて深刻な内容で、いつもはケンカ&修羅場になるような会議…それを、この研修を受講されて、方法を学んだ方が運営すると、一度も険悪になることなく、みんなが意見を言えて、互いのことを聴き合える会議になったそうです。「皆さんにもできますよ!」との講師の言葉に、ドキドキしながらも期待に胸が膨らみました。



会議ファシリテーターとは



合意形成型会議のファシリテーターとは?!これまでの会議の「議長」と対比して、その役割を確認します。リーダーで、会議を誘導する役割ではない・・・意見をまとめるのが役割ではない・・・。楽しいトークの中に、キラリと大切なことがちりばめられている、釘山さんの講義。何度も繰り返される「楽しくなければ会議じゃない!」「意見をたたかわせる場ではない、意見を聴き合う場!」そんな言葉をきいて、拍手を送っているうちに、だんだんと、受講生の心に沁み込んできました。

スキルから始めよう!



協働のまちづくりの6段階。レベル1は何でしょうか。それは、まずはスキルを身につけること。本日、まさに研修で学んでいる、ファシリテーションのスキルです。

会議に出ている全員が、思っていることを言えること。それが、合意につながり、ひいては、みんなでやろう!という実行につながるのです。そんな会議を、地域の人みんなでやって、「幸せな町をつくること」「幸せって何か、対話を繰り返すこと」。それが、協働の、みんなでつくる、まちづくりです。

「課題を解決する」のは最後。色々な夢をみんなで実現していくうちに、課題は解決されていく。今までの常識では「課題を考えること」から始めるけれど、釘山さんがおっしゃるのは、それとは逆のステップ。地域の市民が実践につなげていける講座だなと、感じました。